

第380回三木市議会臨時会 市長 開会あいさつ

令和6年4月16日

開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

4月に入り、新年度が始まりました。春の暖かい日差しが感じられる中、市内各地で桜の花が咲き誇り、市内の学校、園等では入学式、入園式が行われました。新入生、入園児たちは、新しい生活への期待に胸を膨らませ、夢と希望を胸に抱き、元気な姿を見せていました。

また、暖かく穏やかな晴天の中、市民のみなさまや事業者のみなさまが、自主的に地元を盛り上げようと、市内各所で子ども向けのイベントや春の行事を行っており、多くの方が交流し合い、にぎわう姿が見られました。

新型コロナウイルスの感染症の影響により、市民活動の自粛やイベント中止が余儀なくされ、人と人とのつながりが希薄化していました。地域コミュニティの活性化や連帯意識の向上に向け、地域の行事やイベントが復活されていることは、大変喜ばしいことであり、感動を覚えます。

まちへの愛着が深まる良い機会となり、市民のみなさまが、

自分たちのまちを、自ら盛り上げようとされた心意気に、嬉しく思うとともに、頼もしく感じたところです。

さて、今月1日に「みっきい☆健康アプリ」の登録者数が6,000人を突破しました。このアプリは、市民のみなさまの健康意識の向上と、デジタル社会に慣れ親しんでいただくための取組として導入したものです。今月からは、ポイントを交換できる電子マネーとして、市内で身近に使える「WAON（ワオン）」を追加するとともに、大阪ガス株式会社と連携し、市内外の加盟店で利用できるクーポン、「いっとくパスクーポン」の利用を開始しました。このように、機能を追加することで、より親しみやすいアプリとして、さらに普及を進めてまいります。

本年度は、デジタル化の取組を加速させてまいります。新たな電子申請システムを導入し、市役所に行かなくても様々な申請ができるよう、「行かなくてもいい市役所」の実現をめざします。

また、市内の全公民館にWi-Fi環境を整備し、小中学生等がタブレット学習できる場所の提供、災害時での避難所における情報収集などの手段の確保、さらなるスマホ教室の開催によるデジタルデバイド（情報格差）の解消、行政手続のオンライ

ン化に合わせ、公民館で必要な手続きができるような環境づくり、これらの実現をめざします。

デジタル化の取組を進めることで、市民サービスの向上や業務の効率化につなげてまいります。

そうしたなか、このたびの市議会臨時会につきまして、議員の皆さまには、急な招集にも関わりませぬご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日、ご審議をいただく内容につきましては、専決処分の報告が3件、控訴の提起が1件、合わせて4件を予定しております。

どうか十分なるご審議により、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。